

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月13日			記入者	内線 042(769)8286
部 名	生涯学習部	課 名	生涯学習課	課長名	佐藤 清
事務事業名	美術品等収集事業				
予算上の事務事業名	美術品等収集経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			16110	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第6章 彩りのある市民文化を創造します				
基本施策名	第1節 多彩な市民文化の振興				事業開始年度
施 策 名	第1施策 豊かな市民文化の創造				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市美術品等収集基金条例 相模原市美術品等の収集に関する要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	収蔵美術品等の収集計画			本市にゆかりの深い作家等の優れた作品を計画的に収集するための指針	
計画年次	14	年度～	18	年度	
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
市民文化の振興に寄与するために美術品を収集し、広く公開、活用することにより美術の振興を図る。				一般市民	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
美術品の収集 岩橋英遠作品の購入 絵画3点 江成常夫作品の購入 写真1シリーズ 美術品の活用 本館ロビーでの公開					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事 業 費	1,623	20,216	2,577	2,812	2,812
一般財源	1,603	20,196	2,557	2,792	2,792
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	20	20	20	20	20
人件費の合計	2,090	2,090	2,090	2,090	2,090
事業コスト合計(a)	3,713	22,306	4,667	4,902	4,902
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	美術品等収集事業			対象名称(単位)	購入点数(点)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	5	5	5	5	5
対象数	4	0	3	1	0
単位あたり経費(円)	1,250		1,667	5,000	
前年度比				3.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	作品購入額（千円）	指標式と指標の説明		購入額 / 美術品等収集基金現在高 × 100 計画的な作品収集が美術の振興度を表す。	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	18.3	8.8	63.3		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	0.18	0.09	0.63		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	展示日数（日）	指標式と指標の説明		展示日数 / 1年間（365日） × 100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	8.2	0.0	16.4		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	8.2	0.0	16.4		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		文化は都市の根幹である。優れた美術品を購入し、市民へ公開することにより、心の安らぎや心の豊かさをもたらす文化の高揚を図る。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
・美術品等収集基金の充実（一般財源からの定期的な買戻し） ・常設展示場や収蔵庫等を備えた美術施設が必要			今後とも収蔵庫の確保等の課題をクリアしながら計画的に収集していく。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		効果的な事業実施を推進する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			